

1. 本授業科目の基本情報			
科目名(コード)	金融テクノロジー I (TDB211)	配当学年	2学年
講義名(コード)	金融テクノロジー I (TDB211)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス学科	時間数	30
対象コース	デジタル・ビジネスコース	講義期間	春期
専攻		履修区分	必修
授業担当者	池田・伊藤	授業形態	座学
成績評価教員	池田・伊藤	実務者教員	○
実務者教員特記欄	本授業は実務教員による授業である。		

2. 本授業科目の概要	
目的(位置づけ)	銀行はじめ金融機関の役割と歴史をふまえ、技術革新がもたらす新しいキャッシュレス社会、FinTech社会、そしてスタートアップの資金調達を学ぶ
到達目標	各種金融機関の役割と創業融資の手段を理解すること
全体の内容と概要	講義が主体だが、流通キャッシュレスや株取引等特定のテーマについて体験的視察を含める
授業時間外の学修	授業とディスカッションを中心に行い、調査研究、発表を行っていく。
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件			
評価基準	知識(期末試験点) 60%	自己管理能力(出席点) 30%	協調性・主体性・表現力(平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

4. 本授業科目の授業計画			
回	日程	講師	授業内容
1	4月18日	池田一男 様	金利のはなし（1） 住宅ローンの金利、カードローンの金利、日銀の貸出金利・・・ 金利の法律、規制
2	4月25日	池田一男 様	金利のはなし（2） 金融業の資金調達と貸金 利益の構造
3	5月2日	授業なし	課題
4	5月9日	池田一男 様	金融業とはどんな仕事か（1） 金融業の種類 (銀行、信用金庫、地方銀行、消費者金融、政府系金融機関・・・) 貸出しの種類 預金の種類 手数料収入 その他の業務
5	5月16日	池田一男 様	金融業とはどんな仕事か（2） 金融業の種類 (銀行、信用金庫、地方銀行、消費者金融、政府系金融機関・・・) 貸出しの種類 預金の種類 手数料収入 その他の業務
6	5月23日	池田一男 様	金融機関での借入手続き（1） 借入の前提（法人、個人、反社会的勢力のチェック） 借入に際して整理しておくべきこと (計画、金額、資金使途、借入期間、返済方法、保証・担保)
7	5月30日	池田一男 様	金融機関での借入手続き（2） 借入金融機関の選択 借入の手続き（銀行への説明、借入申込書の書き方、準備する資料、登記事項証明書、印鑑証明、資金使途を説明する書類・・・）
8	6月6日	池田一男 様	金融機関での借入手続き（3） 借入金融機関の選択 借入の手続き（銀行への説明、借入申込書の書き方、準備する資料、登記事項証明書、印鑑証明、資金使途を説明する書類・・・）
9	6月13日	日本IBM 安留義孝様	流通市場と金融テクノロジー
10	6月20日	日本IBM 安留義孝様	世界のキャッシュレス決済
11	6月27日	池田一男 様	景気、経済の変動と金融 バブル景気と平成の経済停滞
12	7月4日	並河名誉校長	仮想通貨の最新市場動向
13	7月11日	池田一男 様	金融機関での借入手続き（4） 返済が苦しくなったたらどうするか？返済が苦しい企業に対する銀行の考え方 制度融資の活用 投資家からの出資と銀行借入 企業の精算、倒産
14	7月18日	池田一男 様	振り返り試験（4択を想定）
15	7月25日	池田一男 様	追試とテストの解説並びに講評

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	・本教員は、企業にて、営業や人事その他の業務を歴任した。その経験を活かして、企業コンサルタント、学校等の高等教育機関にて指導を展開してはいる。

